

こんにちは

議会だより です

NO.119

# ひがしかぐら



## 主な内容

第3回定例会 ● 令和5年9月13日～15日(3日間)

- ・ 一般質問 7名 (18件)
- ・ 令和4年度一般会計決算審査特別委員会
- ・ 意見書提出・第6回臨時会・議会の動き 他



# 第3回定例会

令和5年9月13日～15日

行政報告(主な事項) 令和5年6月23日以降

## まちづくり推進課

▼旭川空港ー成田空港便

(ジェットスター・ジャパン) 就航発表  
12月15日から1日1便

▼東神楽130年記念事業

わらアート制作 7月29日～8月14日

バスターミナル前・ひじり野西公園展示

## くらしの窓口課

▼大雪霊園ガーデンング合葬墓見学会(40名)

## 健康ふくし課

▼長寿祝い金の配布

9月1日 88歳の方(56名)

## 産業振興課

▼第51回ひがしかぐら花まつり

8月6日 義経公園

## 建設水道課

▼工事等の契約状況(9月6日現在まで)

## 教育委員会教育推進課

▼教育委員会事務事業点検評価の報告

▼全国学力・学習状況調査の集計結果の報告

## 教育委員会子ども未来課

▼認定こども園等 季節の行事

・夕涼み会

7月21日 認定こども園こころ(心花楽)

・七夕まつり

8月7日 東聖小規模保育園

# 第3回定例会議案審議

## 主な議案

## 議決状況

認定第1号	令和4年度東神楽町一般会計決算の認定	認定第1号から認定第4号については賛成多数で可決
認定第2号	令和4年度東神楽町国民健康保険特別会計診療施設勘定決算の認定	
認定第3号	令和4年度東神楽町水道事業会計決算の認定	
認定第4号	令和4年度東神楽町下水道事業会計決算の認定	
議案第1号	令和5年度東神楽町一般会計補正予算(第6号)	議案第1号から議案第6号については賛成多数で可決
議案第2号	令和5年度東神楽町水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第3号	東神楽町複合施設設置条例及び東神楽町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例	
議案第4号	東神楽町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	
議案第5号	北海道市町村職員退職手当組合理約の一部を変更する規約	
議案第6号	物品の取得の件(診療施設用什器等一式購入)	
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙について	賛成同意
報告第7号	[陳情第4号] ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について	報告第7号については意見書として内閣総理大臣他衆、参議長、各関係大臣に提出
	[陳情第5号] 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書についての陳情書	
	[請願第6号] 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について	



### 小泉義隆 議員

- 1 高齢者の居場所づくりについて
- 2 上下水道事業の経営状況について
- 3 給食費の無償化について



### 小宮達一郎 議員

- 1 町内の無料 Wi-Fi について
- 2 町の農畜産品について
- 3 町内の雇用について



### 清野修一 議員

- 1 無くなっては困る町内会をどうささえるのか



### 竹久美紀恵 議員

- 1 東神楽5号線通り(ベストム商業施設前)の交通安全対策の強化を
- 2 猛暑日が続く今年、各施設の冷房機の設置は万全ですか



### 伊藤一乗 議員

- 1 「花の駅」は、「まち花壇」といった名称に変更してはどうか。また、利用拡大方策として福祉野菜や地場産品の創出などを検討できないか。
- 2 教育委員会では、子供たちの命を守るためどのような熱中症の予防対策を講じているのか



### 横溝政行 議員

- 1 「デジタル社会に対応したまちづくり」とは
- 2 現在の郵便局・バスターミナルの将来の在り方について



### 生出 栄 議員

- 1 命に関わる猛暑対策は万全か
- 2 就学援助費に学習通信費の追加を
- 3 スマート農業導入による農業者支援策は
- 4 文化ホールの今後の活用方法を問う
- 5 懲戒解雇はパワーハラスメントが起因では



# 一般質問

質問・答弁は要約されています。議会だよりでは質問の内容を要約して載せております。質問全文については、スペースの都合から載せることができませんが、詳しく知りたい方は、東神楽町議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますので、どうぞご利用ください。

第3回定例会では7人が一般質問しました。

小泉義隆 議員



問 高齢者の居場所づくりについて

答 「まちの駅」の設置など、よりよい高齢者の居場所づくりの在り方について検討します

**質問** 現在、高齢者等の社会的孤立感の解消や心身の健康維持、要介護状態の予防などを図るために、地域の高齢者によるサロン活動が行われています。これらの活動を充実させ、さらに人と人とのつながりを通じて、地域のあらゆる住民が役割を持って、支え合い・助け合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成することにより、地域共生社会が実現できると考えています。そのためには、地域住民が身近で気軽に交流することができるところの提供が不可欠であると考えますが、町長はどのようにお考えですか。

**町長答弁** 現在、町内の地区公民館や地域世代交流センター等では、町内会や高齢者のサロン活動をはじめ、老人クラブ、高齢者大学、その他趣味・スポーツサークル団体など、多くの個人・団体の方が様々な交流活動を行っています。また、次年度から複合施設の全面的な利用が開始されるため、今以上のニーズにも対応できるものと思われまます。今後は、現在行っている高齢者サロン活動運営費助成事業などの活用を促し、継続して行うとともに、町の情報を発信し、人と人との出会い・交流を促進する場として「まちの駅」を設置するなど、町民の皆様のご意見をお伺いしながら、よりよい高齢者の居場所づくりの在り方について検討してまいります。

給食費の無償化について

**質問** 上川管内で3町が給食費の無償化に取り組んでいるなか、子育て支援を重視している東神楽町として、給食費無償化についてどのようにお考えですか。

**町長答弁** 本町における給食費の完全無償化は、財政負担も大きいことから、財源の確保や段階的な実施など恒久的な制度の確立について検討するとともに、子育て世帯における子どもの進学時の経済的な負担軽減を図るなど、国の動向も注視しながら優先すべき施策を総合的に検討してまいります。今後、保護者の経済的負担軽減のため準要保護児童生徒就学援助事業等による無償化のほか、引き続き安全で質の高い学校給食を提供する取り組みや、地場産食材の利用拡大を進めてまいります。



お楽しみサロン

上下水道事業の経営状況について

**質問** 事業開始から消費税分を除いて、料金もしくは使用料の改定をしていない本町の水道事業と下水道事業の現在の経営状況についてご説明ください。併せて、水道料金と下水道使用料の改定時期と改定率などの現時点での検討状況と、中央市街地の水道事業整備状況について、整備完了年度と給水見込み世帯数をお知らせください。

**町長答弁** 本町の上下水道事業の現在の経営状況については、一般会計からの繰入により収支が成り立っている状況です。また、水道料金と下水道使用料の改定時期と改定率などの現時点での検討状況については、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための基本計画である「経営戦略」の改定を令和6年度に予定しており、料金等改定の必要性についてはコロナ後の社会経済活動や物価高騰など住民生活への影響等を踏まえて検討してまいります。中央市街地の水道事業整備状況については、令和8年度に中央配水池を完了予定で、その後、すでに供給している既存の給水区域に繋ぐ配管を整備する予定です。整備後の給水見込みの世帯数は、中央地区にお住いの約1,400世帯です。

**問** 町のホームページに掲載されている無料 Wi-Fi の情報は正しいですか？

**答** 町のホームページにおける無料 Wi-Fi の整備状況が更新等されていませんでした。



小宮達一朗 議員

町内の農畜産品について

**質問** 東神楽町にはおよそ2000の農家さんが30の農畜産物を育てています。

町内に買える場所はあるが、食べられる飲食店がありません。

飲食店があると町民や観光に来た人たちが消費する機会が増えて、地産地消、六次産業化につながると思うが町の考えを聞かせてください。



東神楽町 HP における公衆無線 LAN(Wi-Fi) サービスのサイトについて

**町長答弁** 町内の飲食店では東神楽町の食材を積極的に利用、東神楽大学の購買部やカフェではPR販売するなど町内外から来客がある。また東神楽町マチのにぎわい創出事業は町内の農畜産物を活用して新規創業者の方に最大200万円の補助をしています。

今後も町の農畜産物の積極的な活用について飲食店などと連携していきます。



東神楽大学の購買部

町内の雇用について

**質問** 東神楽町の雇用は農業や除雪などの季節ごとに短期的な労働需要が高いのが特徴です。

今後、働き手不足はより深刻になると見込まれるが、このような現状をどう捉えていますか？



大雪霊園で活躍している自動草刈ロボット

**町長答弁** 今後も労働需要に対して供給が追いつかず、人手不足が深刻化すると想定しています。DX(デジタル・トランスフォーメーション)による生産性の向上など人手不足解消に向けた取り組みなどについて、町として支援できる施策を検討します。

## ■ 清野 修一 ■ 議員



**問** 町内会は必要ですか  
これからどう支えますか

**答** つながりをもって支援と  
課題解決に協力します

**質問** 町内会は多くの役割を担っ

ています。この先衰退もしくは消滅の危機になるのではないかと心配せざるを得ません。問題点として、

1、役員の成り手不足です。役員になると町内会の活動だけではなく、公民館の運営委員や団地振興協会役員・区長会の役員など多くの役割を背負うこととなります。結果、身体的・時間的拘束が必要とされます。最近では60代・70代の現役勤労者が増えており、そんな暇がない世帯が多いようです。

2、町内会費の支出内容です。会費には活動費のほかに、公民館などの負担金や募金・寄付金を含めて徴収している町内会が多く、この金額は思いのほか高額になります。

3、町内会に加入しない世帯です。任意加入制であるため加入せずとも生活に支障はありません。逆に町内会活動の負担を受けることなく利益だけ受けられるという、いわゆるフリーライド（ただ乗り）ができます。具体例を挙げれば、イベントの開催では一参加者として楽しむことができる。さらに、清掃活動に協力しなくても自宅前はきれいな道路になる。ゴミBOXなど使える。行政からの資料配布物が届く。などフリーライドが出来てしまう部分が多いので、加入するメリットがなく、会費を払ってまで加入はしません。町内会は、行政と一軒一軒の住民世帯を

つなぐ役割も担っており、快適で安心・安全な暮らしを目指しています。町は町内会活動をどのように見ているか。この先衰退もしくは消滅の危機にあると承知していますか。これからの、行政執行方針や、次期総合計画にはしっかりとした対策が必要だと思います。町内会は任意団体ですが、無くなってしまうのは困る組織です。ピンチをチャンスに変える策・努力が必要です。



ひじり野 15 区町内会の道路清掃活動

**町長答弁** 1 点目、行政区・町内会

との意見交換を行った結果、会員数の減少や高齢化の影響がある実情を聞いています。活動負担の軽減対策として、地域おこし協力隊による地域課題の洗い出しや、デジタル技術を活用した効果的な取り組みなど、地域と連携しながら進めます。

2 点目、各団体の会費等の納入は、行政区・町内会を通じて依頼されて

いることは承知しています。町としても地域住民の主体的な参加協力や活動支援が幅広く進められることに期待し、さらに各団体等の活動にも引き続き支援をします。

3 点目、加入しない背景には地域に依存しない新たな生活スタイルへ変化していることが考えられます。対策として地域では、住民が共有する道路や街路灯、ごみ集積所などの平常時や、災害時には安否確認や避難対応など地域住民が共助・互助の精神で支えあい、命を守る役割など核となる必要な組織活動として期待されており、引き続き行政区・町内会の役割や必要性を、役場窓口や町広報誌などを通じて啓発を行います。

町も、農村部や市街地の一部では、高齢化等で人口が減少し地域の機能が今後厳しくなるなど、組織再編等の問題を想定しています。こうした課題には、あらかじめ地域で議論を深めていただき、町としても必要な協力支援を図ります。

また、住民や地域団体と協力し、より良い地域づくりを進めていくために「地域自治を推進するための条例」を策定し、町民や団体が地域自治に参加し、つながりを持って取り組みます。町は、町民力や地域力と総合的につなぎ、効果的に発揮できる環境を整え、より良い地域づくりを進めます。

竹久美紀恵 議員



問 東神楽5号線通りベストム商業施設前の交通安全強化対策を

答 地域を挙げて交通安全に取り組んでいきます



町内のスクールゾーン区域

質問 ひじり野南側住宅街から商業施設ベストムに行く際に道路を横断する高齢者や住民を見かけます。この通りは高台やみずほ通りからひじり野大橋へ抜ける車も多くスピードも出ており大変、危険です。  
町長答弁 地域住民からの声も届いており、旭川東警察署及び公安委員会に断続的に要望書の提出を行っています。  
質問 スクールゾーンや信号機のない横断歩道はありますが白線が消えかかり大変分かりづらい。看板なども街路樹に隠れて見えづらく、週末には商業施設からの出入りも多く信号機付近は渋滞にもなります。  
①車の制限速度50キロから40キロに変更を。  
②横断歩道に手押し信号の設置を検討して頂きたい。

町長答弁 現時点では設置には至っていませんが、東神楽交番と連携をして交通安全の強化対策・安全運転の啓発や歩行者に対しての安全啓発なども進めていきます。  
また、看板等を含め環境整備も行っていきます。

猛暑が続く今夏、各施設のエアコンの設置は万全ですか

質問 8月の猛暑日は、過去最高の記録が続きました。熱中症の救急搬送は昨年の9倍となり、8月22日には伊達小の2年女児が死亡する痛ましい事案もあり、北海道においてもエアコンの設置が急務となりました。

当町でも総合体育館内の「これって」ではお母さんと小さな子供が集う場所のため、猛暑の中では命の危険にも繋がります。早急な対応を行って頂きたい。また、学校や各施設のエアコンの設置状況をお聞かせください。

町長答弁 保育園や小中学校・社会教育施設など公共施設のエアコン設置を進めているところです。これと子育て支援センターを含む町民が利用する20施設では全体または一部エアコンの設置がされていない状況です。

質問 道内公小中学校の8月現在エアコンの設置率は16.5%、旭川市の小中学校15%、東神楽町では各

学校の普通教室で約100%ですが今後、未設置の特別教室等をどのようにお考えですか。

町長答弁 来年度の予算等で考えています。施設の利用状況を踏まえ計画的にエアコンの設置をしてまいります。

質問 夏場の災害対策として避難所となる体育館や公共施設等のエアコン設置をどのようにお考えですか。

町長答弁 体育館・アリーナ等の大きな施設は難しいと思いますが、次年度の予算などを踏まえ計画的に対応してまいります。



施設のエアコン

伊藤 一 議員



**問** 「花の駅」は、「まち花壇」といった名称などに変更を検討できないか！

**答** 「花の駅」の名称は、まちづくりを発信・交流する場と捉えているので、考えておりません



東神楽町の「花の駅」

**質問** これまで駅のないまち東神楽町が、花作りを道の駅にあやかり「花の駅」と名乗って参りましたが元々は、国土交通省が地方創生の拠点作りの一環として

- ・国道及び幹線道路に面した24時間利用可能な駐車場
- ・清潔なトイレ
- ・子育て支援施設
- ・地域の情報提供施設

などの設備要件を持って「道の駅」の使用許可を与えたもので、当町の「花の駅」は、何の付帯施設もなく大変惨めな現状にあります。

むしろ「まち花壇」などに名称変更した方がふさわしいと思われるが町長のお考えはいかがですか。

**町長答弁** 花のまちづくりを基本に据えて取り組んでいることから、提案には応えられません。

施設の充実を図る上から、残念な部分もありますが今後、花のまちづくりの発展をしっかりと観察して参りたいと思います。



スイートコーン

**町長答弁** 「花の駅」の名称については、協働による花のまちづくりを発信・交流する場として捉えていることから、質問の設備等を整えていく考えはありません。

**質問** 当町の「花の駅」は、その面積も狭小であり場所的に移設困難である。

なお、花作りだけじゃなく新たな利用拡大方策として町営の「キッチンガーデン」・野菜畑も耕作し、アスパラやスイートコーン、ほうれん草などを詰め合わせて「ふるさと納税」の返礼品に利用するとか所得の低い世帯への「福祉野菜」の配布に活用すること、地場産品の創出などを検討できませんか。

子どもたちの命を守る  
熱中症の予防対策は

**質問** 異常気象にかかわる熱中症は、8月末現在、全国で3万6千人もの国民が救急搬送されており、道内でも、伊達の小学校では熱中症による死亡事故が発生している。

熱中症から子供の命を守るため、教育委員会ではどのような対策を講じておられますか。

**教育長答弁** 熱中症は、危険な病態であるとの認識から国や道教委の通知等に基づき、予防対策を実施しているほか、令和4年度に町内各小学校普通教室にエアコンを導入し、今年の夏から稼働していることから、教育活動中に熱中症が疑われる事例等の報告はありません。

**質問** 熱中症の病状は、めまい、立ちくらみ、頭痛、吐き気、手足の震えなどが主な症状であるとのことお医者様の診断です。

ここで重要なことは、熱中症の病状などを児童・生徒が自覚できるかどうか、学校教育の中で、児童に対して熱中症、熱射病、日射病などについて教育しているかどうかにかかっているものと思われまます。

**教育長答弁** 学校を短縮して下校させるように、指導を徹底させてまいります。



# 横溝政行 議員



**問** デジタル社会に対応したまちづくりとは

**答** デジタルを使って住民サービスを進めていきます

**質 問** 複合施設周辺に町の駅を設置するとあります。どの様なものですか。

複合施設周辺にはガーデンもできます。町内外から期待をされて来ると思います。経済を考えれば費用対効果は考えなければなりません。町長の考えは。

**町長答弁** ちょっとしたスペースに椅子など置いてトイレなども使えて住民の方が情報交換など気軽に集える場所の設置など考えています。

**質 問** 今回デジタル人材2名を採用しています。今取り組んでいる事、これから取り組もうとしている事などお聞きします。

**町長答弁** 庁舎の移転プロジェクトがメインになっています。今後はデジタルサイネージ(施設、オフィスなどに映像表示装置)を複合施設に付ける事業をします。

**質 問** 住まいの輪促進事業について。資材の高騰など若い世代がなかなか新築を建てられない状況であります。

そうしますと中古物件を買い町の補助事業などを使いリノベーションをすると言った事があります。今後も続けて行きますか。

**町長答弁** 既存の住宅を活用していく事が大きな課題だと考えます。

その為にもこの事業はしっかりと継続し、次年度以降も続けて行きます。

**質 問** 東神楽流花の町ブランドに

ついて。

町長が考える新しい時代の花のまちについて考えをお聞かせ下さい。

**町長答弁** 住みやすさ、住み続けたいまちを体感できる様なまちづくりを目指して行きます。育苗センターも花の町を担う大事な施設であります。

場合によっては民間の力を借りる事も考えて行きます。

**質 問** 独自ブランド開発について。今の時代ふるさと納税、クラウドファンディングと言った事が当たり前前の時代であります。いかにそのまに寄付してもらおうか、地域おこし協力隊、商工会など協力してブランド開発に取り組んで頂きたいと思えます。

**町長答弁** 地域おこし協力隊の方々様々な経歴を持っています。商工会、様々な団体の方々が新しい商品を開発し、行政が支援をして行きます。

**現在の郵便局、バスターミナルについて**

**質 問** 現在の郵便局、バスターミナルについてお聞きします。町民の中には郵便局は複合施設に入るものだと思っている人がけっこういます。

そもそもどちらからこの様な話をされたのか、もしこの施設を購入された場合何に使うのか決まっていますか。町長の話をお聞かしていますとま

だ交渉中とのことでした。

この場所は中央市街地の一丁目一番地であります。非常に重要な場所であり今後の東神楽のまちづくりを左右すると言ってもいいと思えます。

バスターミナルの跡地利用についてもお聞きします。

**町長答弁** 行政のほうからどうですかと言った話をしました。複合施設を整備する中で集約をする事で住民にとつてどの様なものがあるのか、今後住民の皆さんとも考えて行きます。郵便局については現在日本郵便と話し中であります。

バスターミナルの跡地についても今後住民の話を伺います。いずれにしても様々な角度から意見を聞きながら進めて行きます。



現在の中央市街地郵便局

生 出 栄 議員  
(日本共産党)



問 猛暑対策は万全か

答 アラート発令時は注意喚起に努めます

**質 問** 熱中症による入院が、全国一位になった北海道ですが、我が町の猛暑対策の現状を問う。

また、熱中症による救急搬送回数と高齢者の割合はどうなっていますか。

その状況下、町としての対策はどのように考えていますか。

**町長答弁** 町では、猛暑が続く時には、注意を呼びかけて、熱中症予防に努めています。今後は、エアコン設置施設の開放を検討します。

**質 問** 命にかかわる災害に匹敵すると考える時、エアコンの設置を昨年度から進めていることは評価しますが、未設置の施設はあどこですか。

**町長答弁** 特養老人ホームの居室が未設置で大きな問題と考えていますので検討します。

就学援助費に

学習通信費の追加を

**質 問** オンライン学習通信費を支給している町村がありますが、我が町の状況を問う。

**教育長答弁** 町内の児童生徒は基本的に毎日タブレットを持ち帰り、有効活用を計り家庭で学習できる環境を整えています。ルーターの貸し出し希望がある家庭にお貸し、月額通信費3,850円は全額負担していただいています。

**町長答弁** 子供の就学に対する経済的負担の軽減については、総合的に検討します。

**質 問** 検討する答弁は、実施しないとうけますので再質問しますが、義務教育費は全て無料とすると理解していない答弁です。給食費は無料にしない、リモート通信費は自己負担させる。

**教育長答弁** 安心して通信を利用できる施策は重要と考えますので、町長とも相談をしながら取り組んでいきます。

**町長答弁** 次年度の導入に向けて前向きに取り組みたいと思います。

スマート農業導入に

農業者支援策を

**質 問** 水田大型化による、現段階の展望を示してください。また、資材・燃油などの高騰に対する町の対策は。

**町長答弁** 町内31経営体にスマート農業推進事業と、農協の機械銀行事業が、有ります。その上で新たな技術的な課題を、関係機関全体で対応する必要があります。肥料・飼料・農業資材・燃油などの高騰については、国が実施する支援策と連動して適時に実施します。

文化ホールの活用方法は

**質 問** 文化ホールの完成が近づい

ています。催し物についての期待が高まっています。オープン記念事業の考えがあればお聞かせください。

**町長答弁** 供用開始は来年4月予定ですが、令和6年8月以降講演を検討している所で、新年度予算に計上したいと考えています。



完成が近づく文化ホール

懲戒解雇はパワー

ハラズメントが起因では

**質 問** 町民から徴収されたお金が無くなり、そのことを指摘、告発した職員が別件で解雇は組織的なパワーハラズメントに当たりませんか。

**町長答弁** この件について、告発した事を理由に解雇した職員はいません。

# 決算審査特別委員会 質疑応答

質問・答弁は要約されています  
 詳しく知りたい方は、東神楽町議会事務局とふれあい交流館に会議録が置いてありますのでご利用ください。



丸田 隆嗣 委員長

## 81.8億円

使って終わりではないのです!  
 これから厳しくなる財源

### 歳出

#### 総務課

**Q** 防災備蓄食糧品は何人分・何食分を備蓄していますか。

**A** 300人程度で3日分を備蓄しています。期限切れの食品ロスをなくするためローリング・ストックを取り入れ、賞味期限切れ前に町民の皆様に防災学習会等の中で活用をして頂いています。

**Q** ふるさと納税について、約1億3400万円程度かかっていますか、経費の内訳を教えてください。

**A** 令和4年度では、納税寄付金の税額合計2億7605万7000円です。

返礼品の調達配送料・各種委託料等や経費を含め支出1億3475万1000円差し引き1億4130万6000円が財源となります。

### くらしの窓口

**Q** ゴミの分別はゼロカーボン推進事業にも関わってくる問題です。資源ゴミの回収(リサイクル)の啓蒙活動費は推進事業に含まれているのか。

**A** 注意喚起のポスターをゴミボックスや資源物置に貼る費用として含まれています。



町内設置ゴミBOX

### 健康ふくし課

**Q** 子ども医療費助成事業には0歳児も含まれているのか。

**A** 0歳児も含まれています。またこの事業には、高校卒業まで18歳以下の医療費も助成対象です。

### 産業振興課

**Q** 有害鳥獣駆除対策におけるハンターの報酬は適切か、低いのではないか。弾の費用は別支給か。

**A** 報酬は他町さまさまで。当町は中くらいであり、弾の費用は報酬に含めて支払っています。



有害鳥獣の写真



東神楽町の除雪機

**Q** スマート農業推進事業の実態はどうか。

**A** GPSのガイダンスシステムや全自動のパック詰め機、水の管理システムなどの購入に支援をしました。

## 建設水道課

**Q** 除雪事業の免許の取得支援助成金の条件はなんですか。

**A** 申請時に、1ヶ月以上町が実施する除雪事業に従事していること。また、助成後3年間は町の除雪に従事していることが条件となっています。

**Q** 住宅リフォームの補助事業でエアコンを付けたときの助成は、どのようになっていますか。

**A** バリアフリー化工事にかかる部分と省エネルギー化工事にかかる部分は、併用して利用できます。

## 歳入

### 総務課

**Q** 繰越金ですが3億円、多すぎませんか。

**A** 国・道への返還金、ふるさと納税の報償費、除雪費の委託料などに備えています。

**Q** 建物賃借料の内訳は。

**A** 東聖簡易郵便局97万4、408円、旧忠栄小学校120万6000円、大雪霊園管理棟22万8、641円、複合施設現場事務所34万3、192円。



TANE to MI  
SELECT

HIGASHI-KAGURA

ふるさと納税返礼品

## 委員会審査報告

委員長 丸田 隆嗣

### (1) 一般会計関係

令和4年度の歳入の決算額は95億1、262万円で前年度比1.1%の減、金額で1億902万円の減額となっています。

町税、各種使用料等の自主財源の収入未済額については、当年度は、前年度より28.1%減少しています。未収対策については、今後も積極的な取り組みとともに、受益者負担の原則、負担の公平の観点から、未収金の回収には、引き続き、効果的な徴収に努められるよう期待します。

また、歳出の決算額は88億3、852万円で前年度比4.5%の減、金額で4億1、594万円の減額となっています。

厳しい財政状況の中で効率性に十分配慮し執行されたものと認めますが、今後も、より適切な財政運営に努め、自主自立を総意とするのが町の将来を見据え、住民が心豊かに安心して暮らせるまちづくりに努めていただきたいと思えます。

### (2) 特別会計及び事業会計関係

国民健康保険特別会計診療施設勘定においては、安心して医療を受けられる身近な医療機関としての機能を果たすために、今後も効率的な健全運営を望みます。

また、水道事業及び下水道事業

については、安全で快適な住民生活の向上のため、経営成績や財政状況などの的確な把握に努め、経費節減と効率的で効果的な事業運営を望みます。なお、未収金については、使用者の負担公平性や事業の健全財政確保の上から、引き続き積極的な解消に努めていただきたいと思えます。

### (3) 総括

当年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は、国が示す早期健全化基準の範囲を超えるものではなく、総じて健全化に向けた姿勢が窺われますが、財政の弾力性を示す経常収支比率や財政規模に対する負債の大きさを示す将来負担比率等は前年度と比較してやや悪化の数値を示しています。

複合施設の大規模事業は、建設資材の高騰等の影響もあつて事業予算が大きく膨らんでおり、人口減少や少子高齢化、上下水道施設の老朽化への対応なども今後の財政運営に影響を与えるであろうと想定されます。

将来にわたって持続可能なまちであり続けるため、今後も引き続き、費用対効果、緊急性、不可避性等の観点から、可能な限り無駄を省き、より一層の財源確保に努め、活力あるまちづくりに向けて、更なる適切な財政運営を望みます。

## 【意見書の提出】 第三回定例会

### 意見書第4号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

記

1. 二酸化炭素の吸収など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
2. 森林資源の循環利用を推進するため、成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や、木質バイオマスエネルギーの利用促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。
3. 森林吸収源対策のさらなる推進に向け、森林の多い市町村において必要な森林整備がより一層進むよう、森林環境譲与税の譲与基準を見直すこと。  
以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

### 意見書第5号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

記

1. 国の責務である教育の機会均等・水準の最低保障を担保するため、義務教育費を無償とするよう求めます。少なくとも、義務教育費国庫負担制度を堅持し、当面、義務教育費国庫負担金の負担率を1/2に復元されるよう要請します。
2. 「30人以下学級」の早期実現に向けて、小学校1年生～中学校3年生の学級編制標準を順次改定するよう求めます。当面、中学・高校への「35人以下学級」拡大を求めます。また、子どもたちへのきめ細やかな教育のためにも、スクールサポートスタッフなどの職員が現場の要望に応じて勤務できる予算措置を国の責任において行うよう要請します。
3. 給食費、修学旅行費、学力向上のための各種教材費など、保護者負担増は著しいものとなっています。また、学習図書整備更新に伴う図書費の不足も同様です。国の責任において保護者負担解消と教育予算の十分な確保、拡充を行うよう要請します。
4. 就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大、高校授業料無償化など、就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図るよう要請します。
5. 定年引上げ施行にともない、高齢期教職員がモチベーションを維持し、持続的に働くことのできる職場環境の構築に向けて、学校現場の実情に応じた多様な働き方が選択できる制度とするとともに、若年層教職員の採用が計画的に行われるよう、人員配置の措置拡大を要請します。  
以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出いたします。

### 意見書第6号 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

記

1. 道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設及び必要な予算を確保すること。
2. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況も踏まえ、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組むこと。
3. 高規格道路におけるミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化や、直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築など、国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。
4. 橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進し予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、維持管理・更新事業に必要な技術的支援の拡充や予算を長期安定的に確保するほか、舗装修繕等の維持管理に係る制度創設や財政支援の充実・強化を図ること。
5. 地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、子どもたちの安全安心を守る通学路等の交通安全対策を強化・推進するとともに、冬期における安全な道路交通を確保するための道路整備や除排雪を含む安定した維持管理の充実に必要な予算を確保すること。
6. 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。  
以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

## 第6回 臨時会

**日時** 令和5年8月9日

**承認第一号** 令和5年一般会計補正予算(第5号)

**議案**

・第一号 令和5年一般会計補正予算(第5号)

**主な内容**

- ・歳入歳出総額から28,980千円減額し、
- ・歳入歳出総額9,076,407千円とする

**議案**

・第二号 令和5年度国民健康保険特別会計  
診療施設勘定補正予算(第2号)

**主な内容**

- ・歳入歳出6,047千円追加
- ・歳入歳出総額261,033千円とする

**議案**

・第三号 工事負債契結の件

**主な内容**

- ・東神楽中学校(特別教室は終了)空調整備設置工事
- ・契約金52,800,000円
- ・日進設備工業㈱

**議案**

・第四号 講義負債契約の変更契約の締結の件

**主な内容**

- ・複合施設整備工事
- ・契約金額(変更前)4,278,923,000円  
(変更後)4,437,543,000円
- ・(橋本川島・西山・大洋高橋異業種特定建設工事共同企業体)  
橋本川島コーポレーション

## 議会の動き

6月22日以降

### 各委員会

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
令和5年 6月22日	議員控室	タブレット等検討特別委員会(第1・2回)	委員長、委員
6月29日	東神楽町	杜のサーモンプラント・東神楽視察	議員
7月3日	義経台	壱田碑記念式典	議長、議員
7月4日～5日	札幌市ほか	町村議会議員研修会・2常任委員会視察研修	議長、議員
7月6日	委員会室A	行政視察(三重県菰野町議会・総務財政委員会)	議長
7月19日	札幌市	新任議員研修	議員
7月31日	委員会室B	タブレット等検討特別委員会(第3回)	委員長、委員、ほか
8月5日	総合福祉会館	戦没者・功労者追悼式	議長、議員
8月6日	義経公園	第51回ひがしかぐら花まつり	議長、議員
9月5日	委員会室A	タブレット等導入特別委員会(第4回)	委員長、委員
9月13日	会議室	タブレット等導入特別委員会(第5回)	委員長、委員
9月13日～15日	本会議場	決算特別委員会	委員長、委員、ほか

### 議長・議員

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者等
令和5年 8月10日	旭川市	上川教育研修センター組合議会	議長
8月17日	札幌市	町村議会広報研修会	広報委員
9月3日	東京都	東京・東神楽会総会	副議長

委員長 横溝 政行  
副委員長 小宮 達一朗  
委員 生田 栄  
委員 竹出 美紀恵  
委員 松尾 貴野枝  
委員 清野 修一

★議会広報  
常任委員会

うか? 上手く伝わりましたでしよ

感じました。私達、議員は誰に何を伝えたいのか、そして、どうしたら読みやすく理解してもらえるかを考えながら、議会だよりを作っていく必要があると感じました。

言っていました。伝える情報なのだと金井氏は言っていました。私達、議員は誰に何を伝えたいのか、そして、どうしたら読みやすく理解してもらえるかを考えながら、議会だよりを作っていく必要があると感じました。

書いたから読んでもらったわけではなく、読んでから理解してもらえたとは限らない。伝える情報こそ理解してもらえない情報は「伝える」と「伝える」はイコールではない。という事でした。

今回の研修で印象が強かったのは、「伝える」と「伝える」はイコールではない。という事でした。書いたから読んでもらったわけではなく、読んでから理解してもらえたとは限らない。伝える情報こそ理解してもらえない情報は「伝える」と「伝える」はイコールではない。という事でした。

きちんと伝わっていますか? 議会が伝えたいこと

8/17(木)議会広報研修会が札幌市で開催され、広報委員の6名が参加しました。町政のことを町民に伝える広報誌・議会だよりを読みやすくするにはどうすればいいのかについて学んできました。